

■■考えようコミケットのルールとマナー■■

コミケットは、禁止事項以外のことは『他の参加者に迷惑をかけない』という大前提さえ守れば、比較的自由度が高いイベントである。これはコミケットが可能な限り色々な考え方ややり方を許容する、というポリシーを貫いているからだが、それでも、主に過去に発生してしまった問題から、今後同様な事件が起きると開催が危うくなるような行為を禁止事項として定めている。

たった1人であっても、その禁止事項を破って大きな事故が起こればコミケットの存続さえも危うくしてしまう性質のものだから、コミケットに参加する以上はこの禁止事項という『ルール』には従わなくてはならない。また、全参加者はこれから新しい禁止事項が追加されずに済むように、できる限り自分たちで考え、注意しなくてはならない。

コミケットは参加者にできるだけ寛容に。参加者はコミケットに余計な規制をさせないように。この関係を維持することこそが、誰にとっても参加しやすいコミケットを続けていく秘訣なのだ。

■君知ってるかい？ コミケットのマナー■

参加者が厳守すべき『ルール』とは別に、コミケットには長年の間に培われてきた一種のマナーが存在する。これらのマナーは（コミケットが最古最大の同人誌即売会系イベントであるために）現在では同人誌即売会イベントの共通認識のように思い込まれている向きもあるが、実際にはイベント主催者ごと、ジャンルごとといったローカルルール化が進んでいるので、特に他のイベントには参加した経験があるがコミケットは初めてという人は、安易に分かっている、知っているツモリにならず、まずはカタログの注意事項などでよく確認してから参加することが大切だ。



列に並ぶ時は前後左右できるだけ間隔を詰めて並ぶ。待機列などでは並んでから座る場合も多く、その列が座れる列かどうかで詰め方が変わるので、周囲の状況をよく見ながら間隔を調整して並ぶこと。

トイレなどで一時的に列から離れたい時には、左右の参加者に少しの間場所を空ける旨を伝えるのを忘れずに。

立ち上がったなら列を完全に離れてしまう前に周囲を見回し、自分がいる場所をよく確認しておこう。うかつに離れると元居た場所が分からなくなり戻れなくなってしまうためだ。もちろん、列が動き出してしまえば元の場所に戻るのとは不可能になるし、動き出した時点で戻っていなかったらまた最後尾に並び直すことになるので、開会時間が近づいてから列を離れるのはやめた方が賢明だ。特にトイレは混んでいてかなり時間を取られる場合が多いので、もし行くなら十分な時間的余裕を持つか、多少後ろに行くことになっても並ぶ前に済ませておくか考えておくべきだろう。

列を離れた時は、用を済ませたら速やかに戻ることはもちろんだが、戻ったら場所を見ていてくれた人たちに「ありがとう、そちらが出るなら今度は私がみていますよ」と一言添えられたら更に良い。

ただでさえ周囲にも人が密集した中での長時間の待機はとても疲れるが、周囲の参加者同志が助け合い、抗体でトイレや休憩などを行うようにすれば随分楽になる。積極的に声をかけあっていこう。



都内では基本右側通行なので、会場を移動する際もその流れに乗るようにしよう。エスカレーターでは”歩かずに1段おきに”を守って乗る。また、当然ながら会場内では絶対に走らないこと！ また、歩きながら携帯電話や携帯ゲーム機を操作したり、ヘッドホンで耳を塞ぐのは周囲への注意が疎かになり、スタッフや放送の指示が目に入らなくなって思わぬ事故やトラブルの原因になるのでやめよう。

大きなリュック類は背後の参加者に思わぬ迷惑をかけてしまうことがあるので、身体の前に抱えるか、降ろして手に提げる。カートやキャリーバッグも背後に引くと後続の人の足に当たり、特に混みあったホール内では周囲に大きな迷惑となるので、コミケットでの使用は推奨しない。それでもカート類を使用するなら、自分の身体の脇にできるだけ引きつけて持ち、特に混雑の激しい場所では手に提げて移動するのがマナーだ。



サークルで頒布物を手に取る時にまず注意すべきは、目的のサークル以外のサークル（主にその両隣）に迷惑をかけていないか、である。

1サークル当たりのスペースは会議机半分なので、概ね2人横に並んだらスペースの前はいっぱいになる。本を取ろうとして隣のサークルのスペースから横に手を伸ばしたり、手荷物で積本を崩したり、おしゃべりのために留まって他のサークルの前に立ったりしないようにくれぐれも注意しよう。

当然目的のサークルに対しても、机に並んでいる本の上に荷物を置かない、汗を垂らさない、見本誌以外

■■考えようコミケットのルールとマナー■■

コミケットは、禁止事項以外のことは『他の参加者に迷惑をかけない』という大前提さえ守れば、比較的自由度が高いイベントである。これはコミケットが可能な限り色々な考え方ややり方を許容する、というポリシーを貫いているからだが、それでも、主に過去に発生してしまった問題から、今後同様な事件が起きると開催が危うくなるような行為を禁止事項として定めている。

たった1人であっても、その禁止事項を破って大きな事故が起こればコミケットの存続さえも危うくしてしまう性質のものだから、コミケットに参加する以上はこの禁止事項という『ルール』には従わなくてはならない。また、全参加者はこれから新しい禁止事項が追加されずに済むように、できる限り自分たちで考え、注意しなくてはならない。

コミケットは参加者にできるだけ寛容に。参加者はコミケットに余計な規制をさせないように。この関係を維持することこそが、誰にとっても参加しやすいコミケットを続けていく秘訣なのだ。

——■君知ってるかい？ コミケットのマナー——

参加者が厳守すべき『ルール』とは別に、コミケットには長年の間に培われてきた一種のマナーが存在する。これらのマナーは（コミケットが最古最大の同人誌即売会系イベントであるために）現在では同人誌即売会イベントの共通認識のように思い込まれている向きもあるが、実際にはイベント主催者ごと、ジャンルごとといったローカルルール化が進んでいるので、特に他のイベントには参加した経験があるがコミケットは初めてという人は、安易に分かっている、知っているツモリにならず、まずはカタログの注意事項などでよく確認してから参加することが大切だ。



列に並ぶ時は前後左右できるだけ間隔を詰めて並ぶ。待機列などでは並んでから座る場合も多く、その列が座れる列かどうかで詰め方が変わるので、周囲の状況をよく見ながら間隔を調整して並ぶこと。

トイレなどで一時的に列から離れたい時には、左右の参加者に少しの間場所を空ける旨を伝えるのを忘れずに。

立ち上がったら列を完全に離れてしまう前に周囲を見回し、自分がいる場所をよく確認しておこう。うかつに離れると元居た場所が分からなくなり戻れなくなってしまうためだ。もちろん、列が動き出してしまえば元の場所に戻るのとは不可能になるし、動き出した時点で戻っていなかったらまた最後尾に並び直すことになるので、開会時間が近づいてから列を離れるのはやめた方が賢明だ。特にトイレは混んでいてかなり時間を取られる場合が多いので、もし行くなら十分な時間的余裕を持つか、多少後ろに行くことになっても並び前に済ませておくか考えておくべきだろう。

列を離れた時は、用を済ませたら速やかに戻れることはもちろんだが、戻ったら場所を見てくれた人たちに「ありがとう、そちらが出るなら今度は私がみていますよ」と一言添えられたら更に良い。

たださえ周囲にも人が密集した中での長時間の待機はとても疲れるが、周囲の参加者同志が助け合い、抗体でトイレや休憩などを行うようにすれば随分楽になる。積極的に声をかけあっていこう。



都内は基本右側通行なので、会場を移動する際もその流れに乗るようにしよう。エスカレーターでは”歩かずに1段おきに”を守って乗る。また、当然ながら会場内では絶対に走らないこと！ また、歩きながら携帯電話や携帯ゲーム機を操作したり、ヘッドホンで耳を塞ぐのは周囲への注意が疎かになり、スタッフや放送の指示が目に入らなくなって思わぬ事故やトラブルの原因になるのでやめよう。

大きなリュック類は背後の参加者に思わぬ迷惑をかけてしまうことがあるので、身体の前に抱えるか、降ろして手に提げる。カートやキャリーバッグも背後に引くと後続の人の足に当たり、特に混みあったホール内では周囲に大きな迷惑となるので、コミケットでの使用は推奨しない。それでもカート類を使用するならば、自分の身体の脇にできるだけ引きつけて持ち、特に混雑の激しい場所では手に提げて移動するのがマナーだ。



サークルで頒布物を手に取る時にまず注意すべきは、目的のサークル以外のサークル（主にその両隣）に迷惑をかけていないか、である。

1サークル当たりのスペースは会議机半分なので、概ね2人横に並んだらスペースの前はいっぱいになる。本を取ろうとして隣のサークルのスペースから横に手を伸ばしたり、手荷物で積本を崩したり、おしゃべりのために留まって他のサークルの前に立ったりしないようにくれぐれも注意しよう。

当然目的のサークルに対しても、机に並んでいる本の上に荷物を置かない、汗を垂らさない、見本誌以外

■■考えようコミケットのルールとマナー■■

コミケットは、禁止事項以外のことは『他の参加者に迷惑をかけない』という大前提さえ守れば、比較的自由度が高いイベントである。これはコミケットが可能な限り色々な考え方ややり方を許容する、というポリシーを貫いているからだが、それでも、主に過去に発生してしまった問題から、今後同様な事件が起きると開催が危うくなるような行為を禁止事項として定めている。

たった1人であっても、その禁止事項を破って大きな事故が起きればコミケットの存続さえも危うくしてしまう性質のものだから、コミケットに参加する以上はこの禁止事項という『ルール』には従わなくてはならない。また、全参加者はこれから新しい禁止事項が追加されずに済むように、できる限り自分たちで考え、注意しなくてはならない。

コミケットは参加者にできるだけ寛容に。参加者はコミケットに余計な規制をさせないように。この関係を維持することこそが、誰にとっても参加しやすいコミケットを続けていく秘訣なのだ。

■君知ってるかい？ コミケットのマナー■

参加者が厳守すべき『ルール』とは別に、コミケットには長年の間に培われてきた一種のマナーが存在する。これらのマナーは（コミケットが最古最大の同人誌即売会系イベントであるために）現在では同人誌即売会イベントの共通認識のように思い込まれている向きもあるが、実際にはイベント主催者ごと、ジャンルごとといったローカルルール化が進んでいるので、特に他のイベントには参加した経験があるがコミケットは初めてという人は、安易に分かっている、知っているツモリにならず、まずはカタログの注意事項などでよく確認してから参加することが大切だ。



列に並び時は前後左右できるだけ間隔を詰めて並び、待機列などでは並んでから座る場合も多く、その列が座れる列かどうかで詰め方が変わるので、周囲の状況をよく見ながら間隔を調整して並びこと。

トイレなどで一時的に列から離れたい時には、左右の参加者に少しの間場所を空ける旨を伝えるのを忘れずに。

立ち上がったなら列を完全に離れてしまう前に周囲を見回し、自分がいる場所をよく確認しておこう。うかつに離れると元居た場所が分からなくなり戻れなくなってしまうためだ。もちろん、列が動き出してしまえば元の場所に戻るのとは不可能になるし、動き出した時点で戻っていなかったらまた最後尾に並び直すことになるので、開会時間が近づいてから列を離れるのはやめた方が賢明だ。特にトイレは混んでいてかなり時間を取られる場合が多いので、もし行くなら十分な時間的余裕を持つか、多少後ろに行くことになっても並び前に済ませておくか考えておくべきだろう。

列を離れた時は、用を済ませたら速やかに戻ることはもちろんだが、戻ったら場所を見ていてくれた人たちに「ありがとう、そちらが出るなら今度は私がみえていますよ」と一言添えられたら更に良い。

ただでさえ周囲にも人が密集した中での長時間の待機はとても疲れるが、周囲の参加者同志が助け合い、抗体でトイレや休憩などを行うようにすれば随分楽になる。積極的に声をかけあていこう。



都内では基本右側通行なので、会場を移動する際もその流れに乗るようにしよう。エスカレーターでは”歩かずに1段おきに”を守って乗る。また、当然ながら会場内では絶対に走らないこと！ また、歩きながら携帯電話や携帯ゲーム機を操作したり、ヘッドホンで耳を塞ぐのは周囲への注意が疎かになり、スタッフや放送の指示が目に入らなくなって思わぬ事故やトラブルの原因になるのでやめよう。

大きなリュック類は背後の参加者に思わぬ迷惑をかけてしまうことがあるので、身体の前に抱えるか、降ろして手に提げる。カートやキャリーバッグも背後に引くと後続の人の足に当たり、特に混みあったホール内では周囲に大きな迷惑となるので、コミケットでの使用は推奨しない。それでもカート類を使用するなら、自分の身体の脇にできるだけ引きつけて持ち、特に混雑の激しい場所では手に提げて移動するのがマナーだ。



サークルで頒布物を手に取る時にまず注意すべきは、目的のサークル以外のサークル（主にその両隣）に迷惑をかけていないか、である。

1サークル当たりのスペースは会議机半分なので、概ね2人横に並んだらスペースの前はいっぱいになる。本を取ろうとして隣のサークルのスペースから横に手を伸ばしたり、手荷物で積本を崩したり、おしゃべりのために留まって他のサークルの前に立ったりしないようにくれぐれも注意しよう。

当然目的のサークルに対しても、机に並んでいる本の上に荷物を置かない、汗を垂らさない、見本誌以外